

竜山中だより

No. 15
令和6年1月26日
高砂市立竜山中学校
校訓「自主」「協同」「創造」

◆◇◆ 「全国学力・学習状況調査」の結果について ◆◇◆

この調査は、毎年小学6年生・中学3年生を対象に、子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の充実や改善に役立てることを目的としています。調査結果から課題を明確にし、今後の授業改善等に活かして生徒の学力向上を図りたいと考えています。

令和5年度について、本校の分析結果等の考察の一部を紹介します。

【国語】基本的な漢字の読みや意味の理解は、正答率が高かった。一方、自分の考えを書く問題や、解答を複数選択しないといけない問題は正答率が低く、無回答率も高かった。自分の考えを表現することが苦手である傾向が強いことから、「協同学習」を通して自分の意見を伝える力や、他の意見にも触れることで創造や発見の機会を増やすと同時に、書く力を育てる指導が必要である。

【数学】基本的な四則計算や簡易的な質問に対しての問題は、正答率が高かった。反面、文章で説明することや図形の問題は正答率が低く、無解答率も高かった。このような結果から、データの傾向を読み取る力や、判断理由を数学的な表現を用いて説明する力を育てる指導が必要である。

【英語】日常的な話題について、事実や自分の考え等を整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題の正答率が低く、学習と実際の生活との間に乖離が見られた。国語科同様に、自分の考えをもち、表現することを苦手としている傾向が見られた。このような結果から、文章読解に対して英作文が苦手な傾向であるため、調べ学習後のプレゼンテーションにおいて英語で話したりする等、自分の考えや意見を発表する機会を増やす必要がある。

【生活】「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに対して、自己肯定感の低い生徒の割合が、高い傾向にあった。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の問いには、肯定的な回答の割合が、とても高い傾向にあった。

◆◇◆ 「中筋ふれあいとんど祭り」4年ぶりに開催 ◆◇◆

1月14日(日)中筋小学校において、本校からも生徒会役員は運営スタッフ、吹奏楽部はオープニングで演奏を披露する等、会場を盛り上げてくれました。PTAの模擬店も、大盛況でした。ご協力ありがとうございました。久しぶりの開催ということでしたが、中筋地区の各種団体・地域住民の方々の団結力に、感心させられた三世代交流行事でした。

